

# イチゴの植えつけと管理の要点

イチゴは苗つくりから始める栽培期間が1年近くもかかり、収穫は露地栽培では約半月で終わってしまうので、家庭菜園では取り組みにくいものでした。しかし、太陽をいっぱい浴びた旬のイチゴの魅力は格別で、育てたいと希望する人は大変多いものです。

幸いなことに、最近ではイチゴ事情がだいぶ変わり、入手が難しかった苗が出回り始めました。また、大手種苗会社からは、新品種を含めた数々の品種の苗が販

売されるようになり、栽培に取り組みやすくなったといえるでしょう。

イチゴの植えつけ適期は、10月中・下旬です。早めに苗の購入予約をし、良い苗を確保しましょう。

露地やトンネル栽培では「宝交早生」「タナー」が従来からの代表種ですが、ハウス栽培や、日当たりの良い軒下でプランターを使う早取りでは「草姫」「とよのか」などがいいでしょう。そのほか、数多くの新品種が大手種苗会社から売りに出

されています。特性と栽培法を確かめて入手してください。

植え付け15〜20日前までに元肥として完熟堆肥(たいいり)と油かす、有機配合肥料、化成肥料などをベッド全面に散布し、15〜18センチの深さにもく耕し込みます。

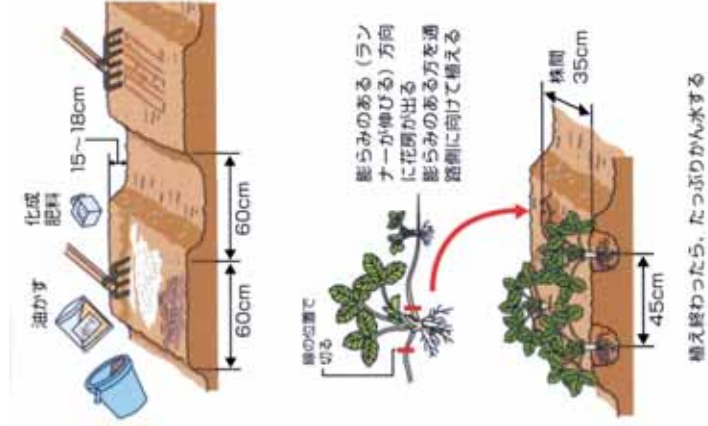
イチゴの根は肥当だけに大変弱いので、植えつけまでに肥料が十分に分解していることが大切です。プランターの場合は、ピートモス主体の専用培地を用い、肥料含有量を確認し、少な



いようならば、事前に油かすや化成肥料を少々補います。未熟な腐葉土や有機質肥料を直前に施用することは禁物です。

畑でベッドに2列植えする場合には、出してくる花蕾の向きを外側にプランターの場合は一方向きを向くように植えつけます。植えつけに当たっては図のようになり、プランターが地上に出る程度とし、深植えしないことです。植えつけ後、晴天なら毎日かん水し、乾かさないようにして活着を促します。

板木技術士事務所  
●板木利隆



品名	規格	成分 (%)			参考価格 (税込)	
		窒素 N	リン酸 P	カリ K	配達	自己取り
いちご特号 (有機質入り)	20kg	10	8	10	2,840	2,786
ST入りいちご配合肥料	20kg	10	13	10	3,531	3,477
CDU硫磷加安O22	20kg	10	12	12	3,402	3,348
ひまし油粕	20kg	5	1	1	1,512	1,458
おぢや元気	15kg				380	350

肥料・農薬・資材のお問合せ・ご注文は営農生産部資材課まで (TEL 83-3845)